

平成30年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 平成30年度第1回理事会

日時：平成30年6月5日(火) 10時～

会場：国立劇場おきなわ会議室

議事：議案第1号 平成29年度事業報告及び決算報告について

議案第2号 平成30年度事業計画変更及び補正予算について

議案第3号 平成30年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である
事項等の決定について

(2) 平成30年度第1回評議員会

日時：平成30年6月20日(水) 10時～

会場：国立劇場おきなわ会議室

議事：議案第1号 平成29年度決算報告について

議案第2号 平成30年度事業計画変更及び補正予算について

議案第3号 理事及び監事の選任について

(3) 平成30年度第2回理事会 (※理事全員の書面での同意による決議)

決議があったものとみなされた日：平成30年9月3日(月)

提案事項：会長の選任について

(4) 平成30年度第3回理事会

日時：平成31年3月14日(木) 14時～

場所：国立劇場おきなわ会議室

議事：議案第1号 平成31年度事業計画及び収支予算について

議案第2号 定年を迎えた事務局職員の任用について

議案第3号 平成30年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である
事項等の決定について

(5) 平成30年度第2回評議員会

日時：平成31年3月27日(水) 10時～

会場：国立劇場おきなわ会議室

議事：議案第1号 平成31年度事業計画及び収支予算について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演42回】

28公演40回（定期公演15回、企画公演11回、研究公演1回、普及公演13回）を実施した。

ア 定期公演（13公演15回）【年度計画：15公演17回】

組踊・琉球舞踊・三線音楽・沖縄芝居・民俗芸能で編成する。伝承されてきた古典の形態を尊重しつつ、必要に応じて上演前に解説を加える等、観客のニーズも勘案し上演している。

公演名	公演数	回数
組踊	3	3
琉球舞踊	5	5
三線音楽（民謡等）	2	3
沖縄芝居	1	2
民俗芸能	2	2

イ 企画公演（9公演11回）【年度計画：9公演11回】

さまざまなジャンルの比較公演をはじめ、本土の芸能、アジア・太平洋地域を中心とする海外の伝統芸能、新作組踊等で構成する。沖縄伝統芸能の新たな可能性を求め、さらなる発展につながる公演の制作に努めている。

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊含む）	4	5
三線音楽等（絃への誘い）	1	1
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席、狂言）	2	3
その他（ゆらていく遊ば）	1	1

ウ 研究公演（1公演1回）【年度計画：1公演1回】

組踊はじめ沖縄伝統芸能の活性化を目的に、現在、上演の途絶えている組踊や琉球狂言、御冠船踊などの中から復曲を試みる公演や、学問的な視点から研究に寄与する公演を制作している。

公演名	公演数	回数
女性の演じる組踊	1	1

エ 普及公演（5公演13回）【年度計画：5公演13回】

組踊、琉球舞踊、沖縄芝居の三つのジャンルにおいて、古典に触れる、親しむことを目的に、児童・生徒や親子を対象に解説を交え上演し、新たな観客層の開拓に努める公演を制作している。

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	3	9
琉球舞踊鑑賞教室	1	1
沖縄芝居鑑賞教室	1	3

オ 開場15周年記念特別公演の開催

平成31年1月に当劇場が開場15周年を迎えたことから、同年1月1月から3月までの期間に実施する自主公演を「開場15周年記念特別公演」と位置づけて上演した。

【事業内容】

- ・企画公演「琉球舞踊と組踊『辺戸の大主』」（1月12日）
- ・企画公演「琉球舞踊と組踊『孝行の巻』」（1月13日）
- ・企画公演「絃への誘い～三線音楽・三味線音楽～」（1月26日）
- ・企画公演「狂言～野村万作・野村萬斎～」（2月8日、9日）
- ・定期公演「琉球舞踊特選会」（2月16日）
- ・定期公演「村々に伝わる組踊・狂言」（3月3日）
- ・定期公演「時代幻想劇『王女御殿』」（3月16日、17日）
- ・企画公演「創作組踊『人盗人』、新組踊『もどろみゆ華の命』」（3月23日）

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は巻末に掲載

(2) 自主公演の開催準備

平成31年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を平成30年8月15日、平成31年3月28日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

県外一カ所(京都市)において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

- ・京都公演：平成31年2月23日(土)／京都芸術劇場春秋座／1ステージ

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ普及促進事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域（金武町立中央公民館(11/1)）において県内巡回公演を実施した。

また、観劇に要する貸切バス費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。

(5) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

- ・公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。
- ・チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（350団体）にチラシを配布した。
- ・沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配布し掲示を依頼した。
- ・沖縄都市モノレールの窓上広告として、年間を通じて施設案内のポスターを掲示した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」「おきなわ倶楽部」(以上月刊誌)、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」(以上季刊誌)、「そらくる沖縄」(年1回)

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新聞	沖縄タイムス 琉球新報
テレビ	NHK、QAB RBC
Web	「うらそえナビ」「じゃらんネット」「Be OKINAWA」「沖縄電力公式フェイスブック」「ナタリー」
雑誌	「美ら島沖縄」「Be OKINAWA」「みちしるべ南の楽園沖縄」「邦楽ジャーナル」「オキナワグラフ」「おきなわいちば」「SKYWARD」「island Guide 2017-2018」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 沖縄修学旅行誘致を目的とした「沖縄修学旅行フェア2018 in東京」(8/8、東京交通会館、主催：沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー)、「沖縄修学旅行フェア2018 in大阪」(12/26、主催：沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー)において、旅行代理店等に国立劇場おきなわの修学旅行向けコンテンツを紹介。

(イ) 「ツーリズムEXPOジャパン2018」(主催：公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本観光業協会、日本政府観光局)に参加し、劇場PRブースを設置するとともに、沖縄音楽体験ワークショップ、イベントスペースでの公演を行った。

(ウ) 国立劇場あぜくら会と連携し、あぜくらの集い「国立劇場おきなわへ行こう！」ツアー客を対象に組踊ワークショップを実施した(1/12実施、参加者数：40人)。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 平成30年度自主公演年間予定表の多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA3サイズ多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、HPへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(オ) 2019年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配布を行った。

(カ) 4月定期公演 琉球舞踊「男性舞踊家の会」において、共通ロビーに平成29年度おでかけ公演(大宜味村、宮古島市)での男性舞踊家の会の様子を写真展示し、公演周知に努めた。(期間：3月24日(土)～4月21日(土))

(キ) 1月定期公演 琉球舞踊と組踊「辺戸の大主」及び琉球舞踊と組踊「孝行の巻」

では、近隣の高校の茶道部による恒例の呈茶を実施し（来場者数：公演2日間計約200名）、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント(カレンダー、劇場グッズ等の詰め合わせ)を行い、初春公演の雰囲気盛り上げた。

(6) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「劇場バックステージツアー」を平成30年8月4日・5日に計2回実施し、計117名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施（第5期組踊研修：平成30年4月～平成31年3月）【計画：10名】

組踊（立方・地方）：第5期（10名）の2年目の研修を実施。
立方5名及び地方5名（歌三線4名、箏1名）

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢16名）

(3) 養成状況

ア 主な授業

組踊実技（立方、三線、箏）、副実技（琉球舞踊、太鼓、笛、箏、胡弓）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球芸能史、日本芸能史、琉球音楽論、琉球古典語、発表会、舞台鑑賞

イ 授業回数 合計494回

- ・組踊実技の実施（90分の288回 立方144回・地方144回）
- ・副実技の実施（90分の51回）
- ・基礎実技の実施（90分の109回）
- ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の31回）
- ・鑑賞・見学研修の実施（90分の11回）
- ・研修発表会の実施3回（リハーサル2回）（4回）

ウ 休暇等

夏季休暇 平成30年8月13日～8月31日

冬季休暇 平成30年12月17日～平成31年1月4日

(4) 研修生発表会の実施

ア 第五期組踊研修生第3回発表会：平成30年10月18日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球舞踊「上り口説」、「浜千鳥」

組踊「孝行の巻」

鑑賞者数：485名

イ 第五期組踊研修生第4回発表会：平成31年3月7日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球古典音楽独唱「二揚下出し仲風節」、「二揚下出し述懐節」、

「二揚仲風節」、「二揚述懐節」

組踊「女物狂」

鑑賞者数：530名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を平成31年3月25日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第8回発表会：平成30年12月15日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：琉球舞踊「かぎやで風」、「稲まづん」、「高平良万歳」、「加那ヨ一天川」
組踊「仲村渠真嘉戸」

鑑賞者数：242人

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	8	48	11	67
逐次刊行物	冊	87	156	24	267
公演・演出台本	冊	0	0	203	203
上演資料集	冊	0	16	4	20
合 計		95	220	242	557

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	29	29
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	45	45
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	45	45
DVD	枚	0	0	0	0
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	5	62	67
チラシ	冊	0	4	0	4
展示図録	点	1	16	0	17
冊子	点	0	0	0	0
合 計		1	25	181	207

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「平敷屋朝敏」、「運天の若按司敵討」の2演目を合計460冊刊行し、各関係機関・研究機関へ配布した。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

期 間	名 称	内 容
平成30年 4月14日（土） ～6月24日（日） 72日	第一回 企画展 「作家・大城立裕」	沖縄で初めて芥川賞を受賞した大城立裕が執筆した新作組踊や沖縄の芝居の衣装や小道具、舞台写真、直筆原稿などを展示し、その幅広い創作活動の世界を紹介。
平成30年 7月7日（土） ～9月16日（日） 72日	第二回 企画展 「夏を涼しむ琉球舞踊」	琉球舞踊で使われる編み笠や扇子など、「涼」を感じる小道具をメインに関連する演目の衣装や写真などを紹介。また、眞境名由康、初代・玉城盛義、島袋光裕、初代宮城能造の各名優が使用していた扇子、編み笠、団扇などの小道具もあわせて紹介。
平成30年 10月6日（土） ～12月16日（日） 72日	第三回 企画展 「ウチナー芝居入門」	沖縄芝居の歴史をひもときながら、琉球歌劇や史劇などの衣装や小道具を展示し、初めてご覧になるお客様にもわかりやすく紹介。また、戦後人気を博した俳優・平良進や3月上演の乙姫劇団代表作「王女御殿」に関する史料もあわせて紹介。
平成31年 1月12日（土） ～3月17日（日） 65日	第四回 企画展 「盆の芸能」	中国から、地獄にいる母の供養をして「盆」のルーツとされる「目連救母（もくれんきゅうぼ）」の物語の操り人形や、先祖供養のため太鼓を打ち囃（はや）す、静岡県の大念仏（だいにんぶつ）、僧侶が歌い踊る韓国の仏事（ぶつじ）、そして沖縄のエイサーなどを紹介。

4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）：12,026人（281日間）

【年度計画：目標来場者数12,000人（達成率100%）、計画日数 281日】

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演28公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（2回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計984人。

【年度計画：4回、480人（達成率205%）】

(5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：2,497人（うち一般804人）

映像・音声視聴：1,441件（1,531時間）、映像・音声複製：61件（33時間）

公開資料：平成16年度～30年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(6) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、「文化観光戦略推進事業」による公演（京都芸術劇場春秋座（2/23））に合わせて五番の衣装やパネル等の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

平成30年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	6	6	9	14	15	20
演劇	2	4	14	24	16	28
舞踊	13	25	25	50	38	75
古典音楽	3	4	10	18	13	22
民謡	0	0	0	0	0	0
民俗芸能	3	3	0	0	3	3
その他（講演会等）	24	31	31	32	55	63
計	51	73	89	138	140	211
利用可能日数	/		/		/	
		117		191		308
目標日数	/		/		/	
		70		120		190
達成率	/		/		/	
		104.3%		115%		111.1%

【平成29年度実績との比較】

大劇場：件数で3件の増、使用日数で14日の減。

小劇場：件数で15件の増、使用日数で33日の増。

大劇場及び小劇場の合計：件数で18件の増、使用日数で19日の増。

ウ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	176件	628.0時間
中稽古室	339件	1,016.0時間
第1小稽古室	358件	1,052.0時間
第2小稽古室	550件	1,676.5時間
第3小稽古室	644件	1,348.5時間
第5小稽古室	471件	1,040.0時間
第6小稽古室	574件	1,336.5時間
交流プラザ	63件	155.0時間
養成研修室	214件	583.0時間
会議室	8件	39.0時間
合計	3,397件	8,874.5時間

※平成29年度の実績と比較すると、件数で484件の増、使用時間で576.0時間の増。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載し、また、適宜貸劇場の空き日状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。

- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成30年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

- (1) 業務委託費
 - ア 警備業務請負契約
 - イ 清掃業務請負契約
 - ウ 施設運転監視業務請負契約
 - エ 舞台技術常駐業務請負契約
 - オ 劇場案内等業務委託契約

- (2) 機械保守費
 - ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
 - イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
 - ウ 舞台機構保守請負契約
 - エ 音響設備定期保守業務請負契約
 - オ 照明設備定期保守業務請負契約
 - カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 文化プログラム関連事業

- (1) オーディオガイドシステムの導入
平成30年11月17日(土)の普及公演 DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「雪払い」において、4か国語に対応したオーディオガイド(英語・中国語・韓国語・日本語)を提供した。

- (2) 企画展示における多言語リーフレットの作製
企画展示においては、外国人向けに、外国語(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語)の翻訳パンフレット及び展示解説リーフレットを設置・無料配布し、組踊・琉球舞踊の魅力を紹介した。

- (3) 外国人のための組踊ワークショップの開催
DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「雪払い」の公演前に、外国人のための組踊ワークショップを開催した。

- (4) 沖縄と東アジアや日本本土の民俗芸能に関する調査及び企画展示
平成30年度第4回企画展「盆と芸能」において、中国・福建省の「盆」のルーツとされる「目連救母(もくれんきゅうぼ)」の物語の操り人形を、台北台原亜州偶戲博物館から借用し展示した。また、韓国の奉元寺からは僧侶が歌い踊る韓国の仏事(ぶつじ)の衣装、楽器等を借用し、紹介した。

- (5) 組踊300年 男(女形)芸の継承と発信(県外公演等)
平成30年8月3日、フランス・パリにおいて、ワークショップを開催。琉球舞踊の解説、実演披露のほか、素顔から女形に仕上がっていく扮装の過程を間近で見学して

もらう等、来場者の関心を高めた。

(6) 組踊ワークショップ等の開催

ア 組踊ワークショップの開催

自主公演（組踊関連公演）の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを6回開催し、旅行業者と連携し組踊鑑賞ツアーを造成することで、県外観光客等の誘客を図った。

イ 県外組踊ワークショップの開催

県外において、組踊ワークショップを3回開催することで、県外における組踊の普及啓発、県外公演や組踊鑑賞ツアーへの誘客を図った。

- ・平成30年10月28日 14:00～15:30、静岡音楽館AOI 7F講堂、参加者数29人
- ・平成31年1月21日 16:00～17:30、京都造形芸術大学楽屋、参加者数54人
- ・平成31年1月22日 16:30～18:30、高知県立県民文化ホール第5多目的室、参加者数48人

ウ しまくとぅば講座の開催

自主公演（9/15沖縄芝居鑑賞教室）前にしまくとぅば講座を開催し、沖縄芝居への関心を高め、自主公演の鑑賞促進を図った。

エ ツーリズムEXPOジャパン2018でのプロモーション活動

劇場専用ブースにて芸能関連資料の設置（パンフレット・チラシ・ポスター等）や宣材素材（チラシ・パンフレット）の配布、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。（イベント来場者数207,000人、パンフレット類2,000部配布、アンケートを250名に実施。）

オ おでかけワークショップの開催

組踊・琉球舞踊等、沖縄の伝統芸能の魅力をより身近に親しみやすく感じてもらえるよう、各学校を訪問し、入門編のワークショップを開催した。

- ・平成30年7月8日（月）、9月20日（木） 沖縄尚学高等学校附属中学校1年生 285名
- ・平成30年11月26日（月） 浦添市立浦添小学校4・5年生 205名

(7) 「外国人のための組踊鑑賞教室」に関する広告宣伝費

チラシ1種（多言語本チラシ（英語・中国語・韓国語）10,000部）を制作し、インターナショナルスクール、自治会、ホテル等へ配布した。ポスターは、チラシの拡大版を20部制作・掲示した。

米軍基地関係者及び外国人観光客をターゲットに英字情報誌「Okina Wanderer」に掲載した。（10月25日号、11月10日号）

当該媒体は県内全ベース内施設・書店・コンビニ等500箇所無料設置。

(8) 電話通訳サービスの導入

来場する外国人に対応するため、電話通訳サービスを導入した。

8 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

(単位：人)

会 員 数 推 移

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952	1,992	1,810
年度	29年度	30年度												
会員数	1,636	1,670												

平成31年3月末現在会員数：1,670人【年度計画：1,800人、達成率92.7%】

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア) 「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成30年12月22日、参加人数31人。

バスにて豊見城総合公園「未生の縁」再演記念碑、瀬長島「手水の縁」出会いの碑等の組踊ゆかりの地や歌碑を巡るツアーを行い、垣花武信氏が講師を務めた。その後、劇場において、組踊公演「運天の若按司敵討」の鑑賞を行った。

(イ) 「友の会新春講演会」：平成31年1月13日、参加人数162人。

小劇場において、照喜名朝一先生（国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」各個認定保持者）を講師に迎え、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）を聞き手に、照喜名朝一先生のこれまで歩まれてきた芸の道に関して講演会を実施した。

(ウ) 「沖縄芝居鑑賞教室 公開稽古見学会」：平成30年9月3日、参加人数21人。

平成30年9月13～15日上演の「沖縄芝居鑑賞教室」の公開稽古見学会を大稽古室で行った。金城真次、平良進、瀬名波孝子ほか出演者が通し稽古を行い、その様子を見学した。

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

(ア) 「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」：既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈。

(イ) 「Web新規入会促進キャンペーン」：Webチケット販売サービスから入会した場合、特典として自主公演50%割引券を進呈。

平成30年2月1日から5月31日まで実施。期間中、「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」52人、「Web新規入会促進キャンペーン」11人の計63人がキャンペーンを利用して新規入会した。

(ウ) 「友の会入会金0円キャンペーン」：対象の普及公演（平成30年6月から11月の5公演）購入者に限り、通常1,000円の入会金を0円とした。このキャンペーンを利用して75人が新規入会した。

エ 自主公演観劇ラリーの実施：会員サービスの充実を図るとともにチケット販売を促進するため、友の会会員限定企画「国立劇場おきなわ自主公演観劇ラリー」を実施した。

(ア) 実施期間① 平成30年4月から9月まで

6つの対象公演のうち、3公演購入者に「自主公演50%割引券」を、6公演購入者に「自主公演50%割引券」と「自主公演ご招待券」を進呈することとした。

(購入者数) 3公演：29人、4公演：17人、5公演：5人、6公演：7人

(イ) 実施期間② 平成30年10月から平成31年3月まで

8つの対象公演のうち、3公演購入者に「自主公演50%割引券」を、6公演購入者に「自主公演50%割引券」と「自主公演ご招待券」を1枚ずつ、8公演購入者に「自主公演50%割引券」1枚と「自主公演ご招待券」2枚を進呈することとした。

(購入者数) 3公演：50人、4公演：22人、5公演：11人、6公演：3人、7公演：3人

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	16件	3件	19件	38件
収入	金額	2,200千円	350千円	370千円	2,920千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

		職場
募金収入	件数	158件
	金額	1,617千円

(3) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成30年度アクセス件数 448,269件（1日平均1,228件）

イ メールマガジン（月1回発行）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
1	企画 公演	4月14日	昼	組踊 新作組踊「真珠道」 第一部 「七色元結～真玉橋の由来記～」 第二部 新作組踊「真珠道」	八木政男、徳原清文他 東江裕吉、新垣悟、嘉手苺林一、 真境名律弘他
2	定期 公演	4月21日	昼	琉球 舞踊 男性舞踊家の会 第一部 「鷺の鳥」「とうがにあやぐ」「高平良万歳」「諸屯」他 第二部 「取納奉行」「花風」「ナークニー汀間当」「松竹梅鶴亀」他	阿嘉修、宮城茂雄、金城真次、石川直也、川満香多、大浜暢明、西門悠雅、佐辺良和、玉城盛義他 田口博章、大湾三瑠、新垣悟、平田智之、東江裕吉他
3	定期 公演	5月12日	昼	三線 音楽 唄方～うたかた～島ぬうらみ節・なさき節 ヨイストラ節、月ぬまびろ一ま節、伊良部トーガニー、白骨節他	喜友名朝樹、知念こずえ、比嘉真優子、黒島新、下地イサム、中野律紀、前山真吾、神谷武史、宮城小寿江、宮沢和史
4	定期 公演	5月26日	昼	組踊 組踊「大川敵討」～一名・忠孝婦人～ 組踊「大川敵討」	神谷武史、宮城茂雄、親泊久玄、宇座仁一、石川直也 平田智之、田口博章、玉城匠、嘉数道彦、池間隼人、東江裕吉、新垣悟、嘉数幸雅、伊藝武士、佐喜眞一輝、知花令磨、上原信次、島袋浩大他
5	研究 公演	6月9日	昼	組踊 「女性の演じる組踊」 第一部 組踊「手水の縁」 第二部 組踊「執心鐘入」	仲程沙耶花、宮城愛佳、玉城盛義、平田智之、玉城匠他 皆川律子、饒波園代、比嘉一恵、孤島丘奈、仲本久乃、山城亜矢乃他
6	定期 公演	6月24日	昼	民俗 芸能 「八重山諸島の芸能～黒島の伝統芸能～」 第一部 結願祭の奉納芸能 第二部 豊年祭の奉納芸能	黒島公民館 石垣在黒島郷友会 沖縄在黒島郷友会
7	普及 公演	6月30日	昼	組踊 組踊鑑賞教室「銘苺子」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「銘苺子」	玉城匠 天願雄一、田口博章、石川直也、上原崇弘、比嘉大志知花令磨他
8	定期 公演	7月7日	昼	琉球 舞踊 「琉球舞踊鑑賞会」夏模様～七夕～ 第一部 「むんじゆる」「じーなー」「銭掛の花」「天河や帯」他 第二部 「作田」「笠踊り」「夏姿」「魚くわーし節」「本花風」「牽牛織女」	宮良勝津美、城間千恵美、伊波妙、西村綾乃、新垣初美、新垣りな、渡久地美幸、當眞結子、新垣加那志、新垣歌乃、玉城節子他 高嶺久枝、真境名律弘、比嘉倫子、呉屋かなめ、知花小百合、山城亜矢乃、新垣麻里子、松田香織、廣山えりか、山田多津子、宮城早苗、宮城園美他
9	定期 公演	7月21日	昼	組踊 組踊「万歳敵討」	※台風のため中止
10	普及 公演	7月28日	昼	琉球 舞踊 琉球舞踊鑑賞教室 第一部 琉球舞踊 「四季口説」「本貫花」「谷茶前」他 第二部 新作舞踊劇「舌切りスーサー」	喜納彩華、玉城知世、伊波留依、高里風花、大浜暢明、比嘉加奈子、高良涼子他 上原信次、玉城匠、川満香多、上原崇弘他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
11	普及公演	8月11日	昼	組踊 親子のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊版「シンデレラ」 第二部 組踊「執心鐘入」	上原崇弘、嘉数愛美、知花小百合、川満香多、伊藝武士、嘉数幸雅他 上原信次、宮城茂雄、宇座仁一、宮里光也、知花令磨他
12	企画公演	8月18日	昼	組踊 創作舞踊と新作組踊「平敷屋朝敏」 第一部 創作舞踊「愛しさや福木」「かせかけの想い」他 第二部 新作組踊「平敷屋朝敏」	伊志嶺忍、金城光子、宮城さなえ、当銘由亮他 大湾三瑠、玉城盛義、佐辺良和、石川直也、玉城匠、川満香多、天願雄一他
13	定期公演	9月8日	昼	琉球舞踊 「琉球舞踊特選会」 第一部 「天川」「下り口説」「むんじゅる」他 第二部 「作田」「取納奉行」「柳」「道輪口説」他	又吉静枝、宮城豊子、我那覇則子、佐藤太圭子、宮城幸子他 又吉世子、渡久地美代子、比嘉涼子、玉城静江、宮城能鳳、谷田嘉子他
14	普及公演	9月13日 14日 15日	昼 昼 昼	沖縄芝居 沖縄芝居鑑賞教室 第一部 総舞踊「長者の大主」喜歌劇「夜半参」他 第二部 「怪猫伝化け猫～山田祝女殿内～」	平良進、瀬名波孝子、真栄田文子、大城常政、宮城能香、赤嶺啓子、高宮城実人、伊良波さゆき、知念亜希、廣山えりか、玉城知世、伊波留依、伊藝武士他 平敷勇也、上原崇弘、玉城匠、伊藝武士、比嘉大志、儀間佳和子、伊禮門綾、新垣正弘、嘉数幸雅、嘉数道彦、金城真次他
15	定期公演	9月29日	昼	組踊 組踊「義臣物語」	※台風のため中止
16	企画公演	10月6日	昼	その他 ゆらていく遊ば 喜劇「母恋童子其ノ後ノ噺～続・女物狂～」	玉城盛義、阿嘉修、知花小百合、高宮城実人、古謝美佐子、平良進、瀬名波孝子、金城真次、玉城匠他
17	定期公演	10月13日	昼 夜	三線音楽 琉球弧の島唄 昼の部 夜の部	島袋辰也、仲宗根豊、西和美、伊藤幸太、大城美佐子 大工哲弘、下地美咲、新垣成世、里歩寿、知名定男
18	定期公演	10月27日	昼	組踊 組踊「雪払」 第一部 琉球舞踊 ～素敵香りの舞踊曲～「本嘉手久」「諸屯」「しょんだう」他 第二部 組踊「雪払」 (今帰仁御殿本)	親泊ナミ、山城洋子、大浜暢明、又吉聖子、吉元路、翁長俊輔 佐辺良和、玉城匠、大湾三瑠、川満香多、平田智之、上原崇弘他
19	企画公演	11月11日	夜	本土の芸能 「国立劇場寄席」 寄席囃子の実演解説、落語、漫才、紙切り	柳亭市馬、柳家喬太郎、古今亭文菊、林家二楽、ホンキートンク、柳家小んぶ、森吉あき
20	普及公演	11月14日 11月15日 11月16日 11月17日	朝 昼 朝 昼 朝 昼 昼	組踊 組踊鑑賞教室「雪払い」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「雪払い」	上原崇弘(14, 15日) 玉城匠 (16, 17日) 石川直也、川満香多、親泊久玄、田口博章、上原信次、新垣悟(14, 15日)、仲村圭央(16, 17日)他
21	企画公演	11月24日	昼	アジア・太平洋地域の芸能 アジア・太平洋地域の芸能 「モンゴルの伝統芸能」 第一部 「ホンガロー」「ホーミー二重唱」「西モンゴルの舞踊」 第二部 「舞踊『家族』」「狼の襲歩」「アルタイ山賛歌」	オトゴンバヤル、ガンホヤグ・バトツェツェグ、ボルドエルデネ、バトエルデネ、ドルギオン、ナラングレル、ボルマー、ミヤガマルスレン、ダグワ・ネレグイ

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
22	定期公演	12月8日	昼	琉球舞踊 男性舞踊家の会 第一部 古典舞踊「柳」「高平良万歳」「諸屯」 第二部 雑踊「むんじゅる」「花風」「鳩間節」 第三部 創作舞踊「暁節」「紺染み」「天空坊」	石川直也、田口博章、宮城茂雄 佐辺良和、東江裕吉、玉城盛義 大湾三瑠、金城真次、阿嘉修 他
23	定期公演	12月22日	昼	組踊 組踊「運天の若按司敵討～一名・本部大腹～」 第一部 琉球舞踊～房指輪の輝く舞踊曲～ 「かせかけ」「本貫花」「天川」「金細工」 第二部 組踊「運天の若按司敵討」	我那覇明子、安座間明美、比嘉さつき、又吉啓子、新垣江里子、新垣麻里子他 玉城盛義、宮城茂雄、佐辺良和、平田智之、親泊久玄、宇座仁一他
24	企画公演	1月12日 1月13日	昼 昼	舞踊組踊 「琉球舞踊と組踊『辺土の大主』」 第一部 琉球舞踊「老人老女」「稲まづん」他 第二部 組踊「辺土の大主」 「琉球舞踊と組踊『孝行の巻』」 第一部 琉球舞踊「老人老女」「秋の踊り」「浜千鳥」他 第二部 組踊「孝行の巻」	島袋光晴、宮城幸子、山田多津子他 宇座仁一、阿嘉修、石川直也川満香多他 親泊興照、谷田嘉子、山城洋子、宜保雅子他 眞境名正憲、宮城能鳳、金城清一、佐辺良和、金城真次他
25	企画公演	1月26日	昼	三線音楽等 「絃への誘い～三線音楽・三味線音楽～」 第一部 琉球古典音楽 第二部 地歌・津軽三味線	照喜名朝一、西江喜春、城間徳太郎他 富山清琴、澤田勝秋他
26	企画公演	2月8日 2月9日	夜 昼	本土の芸能 狂言～野村万作・野村萬斎～ 8日 解説 野村萬斎 小舞「鮎」狂言「呂蓮」新作狂言「鮎」 9日 解説 石田幸雄 狂言「川上」一管「神舞水波之伝」新作狂言「鮎」	8日解説 野村萬斎 野村万作、野村萬斎、石田幸雄、深田博治、竹市学他 9日解説 石田幸雄 野村万作、野村萬斎、石田幸雄、深田博治、竹市学他
27	定期公演	2月16日	昼	琉球舞踊 「琉球舞踊特選会」 第一部 「作田」「美童ナークニー」「伊野波節」「護身の舞」他 第二部 「むんじゅる」「本花風」「諸屯」「十六夜」「加那よ一」他	宮城能造、海勢頭あける、金城光子、安次富紀子、親泊興照、玉城節子、比嘉美好、玉城秀子、島袋君子、古謝弘子、志田房子、金城美枝子他
28	定期公演	3月3日	昼	民俗芸能 村々に伝わる組踊・狂言 第一部 「与那覇頭親雲上」狂言「伊豆見」 第二部 組踊「国吉の比屋」	西原町棚原区芸能保存会 南風原町津嘉山民俗芸能保存会 名護市屋部区踊り団
29	定期公演	3月16日 17日	昼 昼	沖縄芝居 時代幻想劇 王女御殿 第一部 「加那よ一天川」「口上」「花車」他 第二部 時代幻想劇「王女御殿」	富里敬子、伊舎堂千恵子、八木政男、与座ともつね、与座喜美子、嘉数道彦他 佐和田香織、比嘉いずみ、知花小百合、比嘉一恵他
30	企画公演	3月23日	昼	組踊 創作組踊「人盗人」新組踊「もどろみゆ華の命」 第一部 「人盗人」 第二部 「もどろみゆ華の命」	神谷武史、眞境名正憲、新垣悟、金城陽一、平田智之他 小渡和道、宮城園美、玉城盛義、金城保子、宇座仁一他

【自主公演入場率】

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月14日	新作組踊「真珠道」	昼	567席	342人	60.3%	565席	339人	60.0%
2	21日	男性舞踊家の会	昼	621席	569人	91.6%	619席	495人	80.0%
3	5月12日	唄方～うたかた～	昼	621席	339人	54.6%	619席	402人	65.0%
4	26日	「大川敵討」	昼	567席	502人	88.5%	565席	339人	60.0%
5	6月9日	女性の演じる組踊	昼	567席	380人	67.0%	565席	339人	60.0%
6	24日	八重山諸島の芸能	昼	568席	542人	95.4%	566席	368人	65.0%
7	30日	組踊鑑賞教室「銘苺子」	昼	578席	418人	72.3%	578席	405人	70.0%
8	7月7日	琉球舞踊鑑賞会	昼	621席	301人	48.5%	619席	464人	75.0%
9	21日	「万歳敵討」	昼	一席	一人	—	565席	339人	60.0%
10	28日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	568席	320人	56.3%	566席	396人	70.0%
11	8月11日	親子のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	470人	81.3%	578席	405人	70.0%
12	18日	創作舞踊と新作組踊「平敷屋朝敏」	昼	621席	433人	69.7%	619席	402人	65.0%
13	9月8日	琉球舞踊特選会	昼	621席	351人	56.5%	619席	495人	80.0%
14	13日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	568席	458人	80.6%	566席	425人	75.0%
15	14日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	419人	72.4%	579席	434人	75.0%
16	15日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	436人	75.3%	579席	347人	60.0%
17	29日	「義臣物語」	昼	一席	一人	—	565席	339人	60.0%
18	10月6日	ゆらていく遊ば	昼	568席	399人	70.2%	566席	425人	75.0%
19	13日	琉球弧の島唄	昼	249席	118人	47.4%	249席	162人	65.0%
20	13日	琉球弧の島唄	夜	249席	113人	45.4%	249席	162人	65.0%
21	27日	「雪払い」	昼	567席	274人	48.3%	565席	339人	60.0%
22	11月11日	「国立劇場寄席」	夜	621席	566人	91.1%	619席	495人	80.0%
23	14日	組踊鑑賞教室「雪払い」	朝	578席	354人	61.2%	578席	463人	80.0%
24	14日	組踊鑑賞教室「雪払い」	昼	578席	419人	72.5%	578席	462人	80.0%
25	15日	組踊鑑賞教室「雪払い」	朝	578席	403人	69.7%	578席	463人	80.0%
26	15日	組踊鑑賞教室「雪払い」	昼	578席	454人	78.5%	578席	462人	80.0%
27	16日	組踊鑑賞教室「雪払い」	朝	578席	479人	82.9%	578席	463人	80.0%
28	16日	組踊鑑賞教室「雪払い」	昼	578席	283人	49.0%	578席	462人	80.0%
29	17日	組踊鑑賞教室「雪払い」	昼	578席	210人	36.3%	578席	347人	60.0%
30	24日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	567席	374人	66.0%	565席	339人	60.0%
31	12月8日	男性舞踊家の会	昼	621席	577人	92.9%	619席	495人	80.0%
32	22日	「運天の若按司敵討」	昼	567席	380人	67.0%	565席	339人	60.0%
33	1月12日	琉球舞踊と組踊「辺戸の大主」	昼	563席	377人	67.0%	565席	367人	65.0%
34	13日	琉球舞踊と組踊「孝行の巻」	昼	563席	451人	80.1%	565席	367人	65.0%
35	26日	絃への誘い～三線音楽・三味線音楽～	昼	617席	276人	44.7%	619席	371人	60.0%
36	2月8日	狂言～野村万作・野村萬斎～	夜	621席	592人	95.3%	619席	495人	80.0%
37	9日	狂言～野村万作・野村萬斎～	昼	621席	599人	96.5%	619席	495人	80.0%
38	16日	琉球舞踊特選会	昼	621席	441人	71.0%	619席	495人	80.0%
39	3月3日	村々に伝わる組踊・狂言	昼	621席	382人	61.5%	619席	402人	65.0%
40	16日	時代幻想劇「王女御殿」	昼	568席	451人	79.4%	566席	368人	65.0%
41	17日	時代幻想劇「王女御殿」	昼	579席	482人	83.2%	579席	376人	65.0%
42	23日	創作組踊「人盗人」新組踊「もどろみゆ華の命」	昼	621席	569人	91.6%	619席	371人	60.0%
合 計				22,874席	16,303人	71.3%	23,964席	16,718人	69.8%

【年度計画：16,718人、達成率97.5%】

※「万歳敵討」及び「義臣物語」については、台風の影響により公演中止となった。